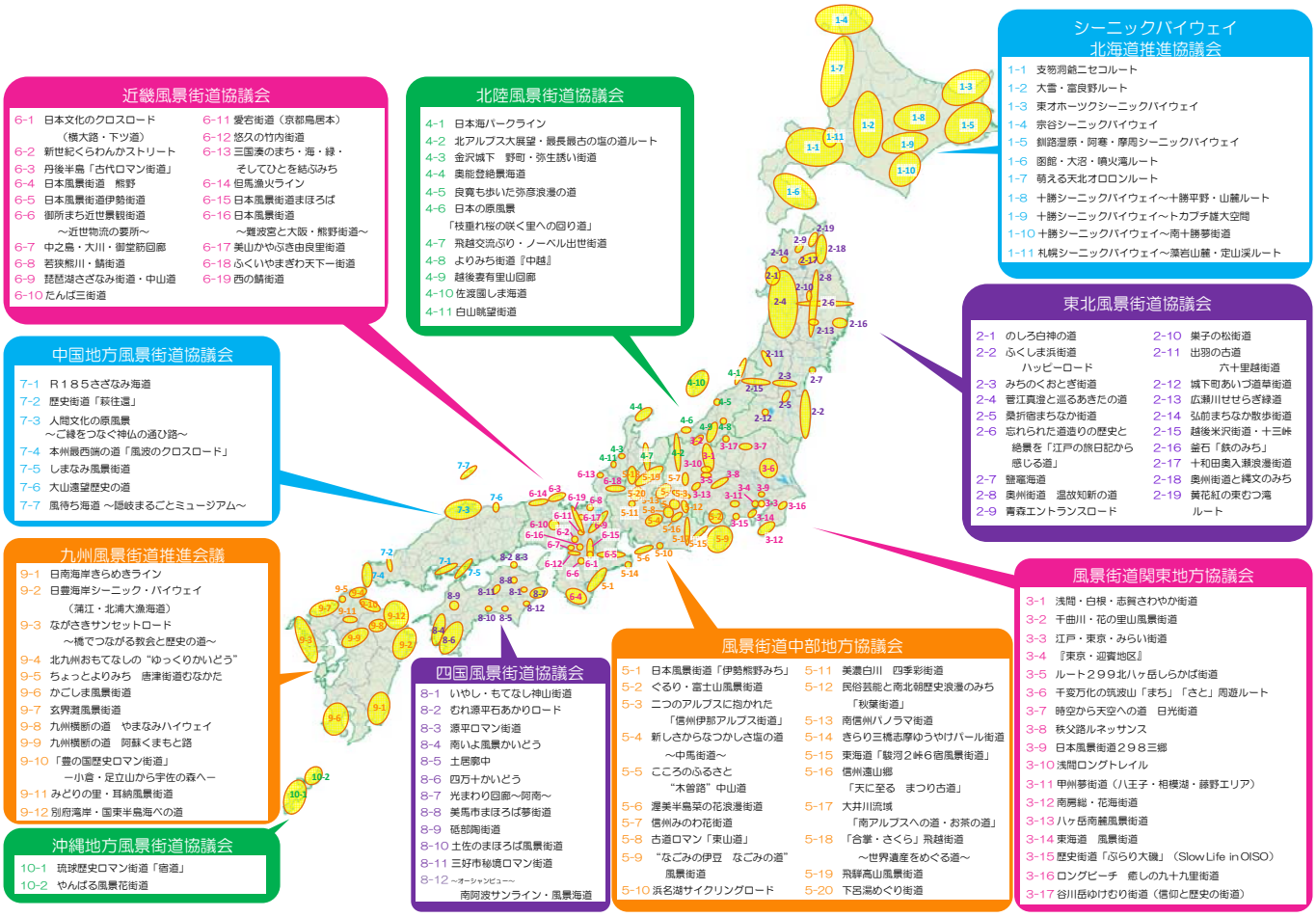
日本風景街道だより

2013 年　春　Vol. 24

全国で 130 の風景街道が登録

平成25年3月に四国地方と九州地方それぞれで1ルートが新規登録されました。
これにより全国で 130 の風景街道が登録されています（平成 25 年 3 月末現在）。
四国地方の新規登録1ルートは、「～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景街道」です。
九州地方の新規登録1ルートは、「別府湾岸・国東半島海べの道」です。
なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ（http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html）、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

浦々のふれあいでみんな元気！蒲江・北浦大漁海道

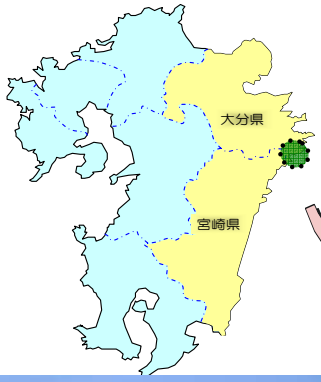
ルート名：日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道）

１．ルートの概要とハイウェイの建設

日豊海岸シーニック･バイウェイは、別名「蒲江･北浦大漁海道」と呼ばれ大分県南端の佐伯市蒲江と宮崎県北端の延岡市北浦を結ぶリアス式海岸沿いの風光明媚なルートです。当ルートは、浦（迎え入れる人里）ごとにある海業（持続的な漁業）の振興を通して地域の活性化を図るもので、主にブルーツーリズムによる活動が盛んに行われています。

推進体制は、蒲江、北浦の女番長お二人がリーダーとなり地域民間団体（約20）と行政（国交省、大分･宮崎両県、佐伯市･延岡市）をグイグイ引っ張って種々の活動を行っています。

地域のシンボル「大漁旗」



美しいリアス式海岸（入津湾）

日豊海岸シーニック･バイウェイエリア

当地域を含む佐伯市から延岡市にかけては、現在、東九州自動車道（ハイウェイ）の建設がピークを迎えています。昨年12月には延岡～須美江間、今年2月には、蒲江～北浦間が開通し、美味しい海の幸を求めて来訪者数の延びも上々です。

佐伯IC～延岡南IC間約67kmは無料の高速道路であり、今後、全線開通に向け地域の期待感が高まっているところです。

東九州道（蒲江～北浦）開通式

２．活動内容

当ルートでは、大きく3つの活動方針をたて継続的な活動を行っています。以下に代表事例について紹介します。

（１）活動方針１　地域の資産「おしなぎい（もったいない）」の発掘と有効利用

〇蒲江の『あまべ渡世大学』と北浦の海体験プログラム

蒲江地域をキャンパスに見立て、地元漁師たちが「講師」となり、海辺の仕事や生活を体験できる「あまべ渡世大学」を平成19年から行っています。体験講座は、「ウニ割り体験」、「シーカヤック体験」など21講座からなり、毎年多くの方が受講されています。なかでも12の浦々の料理が1度に楽しめる「おばちゃんバイキング」が大人気です。

また、北浦ブルーツーリズムでは、干し物体験・定置網体験など海体験プログラムを実施しています。

おばちゃんバイキング

北浦・小型定置網体験

（２）活動方針２　「海の道」のリフォーム　.....　ビューポイント再生、海岸清掃など

〇のじぎく再生プロジェクト

里の駅‘たかひら展望公園’の「のじぎく」は、佐伯市蒲江を代表する秋の風物詩ですが、一時期、鹿の食害や連作障害等で壊滅状態になっていました。

そこで、地域住民と官民パートナーシップが連携し、平成22年度より「のじぎく」再生に取り組んでいます。幾重にもなる鹿防止ネットの設置や早朝からの草取り・水やり、ビニールハウスでの育苗等の苦労が実り、たくさんの「のじぎく」が咲くようになりました。まだまだ苦労が多いですが、地元の里山として地域の人からも愛されています。毎年 11 月から 12 月上旬頃までが見頃です。

散策路に幾重にも張られた鹿ネット

きれいに咲いた「のじぎく」

（3）活動方針３　県境を越えた地域連携と情報発信

○東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り

東九州伊勢えび海道とは、大分県佐伯市と宮崎県延岡市の共通の地域資源「伊勢えび」を活用して地域おこしを行うものです。海道筋のお食事処では伊勢えび漁の解禁となる9月からの3ヶ月間、新鮮な伊勢えび料理が堪能できます。このお祭りでは、県境を越えた官民パートナーシップが連携してキャラバン隊を結成し、両県知事や報道機関を訪問し各種イベントを実施しています。毎年リピーターが増加傾向であり、今年は10年を迎える節目の年です。

宮崎県知事を訪問したキャラバン隊

蒲江･北浦地域の自慢の伊勢えび

○情報発信

日豊海岸シーニック･バイウェイでは、ホームページやfacebookを立ち上げ、情報発信も頑張っています。また、毎月発行する「蒲江･北浦大漁海道だより」は地域の皆さんの旬の情報をもとに発行する手作りの情報誌です。

今後も来訪者にわかりやすい情報を提供したいと思います。

情報誌「蒲江･北浦大漁海道だより」

3．おわりに

東九州自動車が開通して便利になる反面、全線開通した時、素通りされないような魅力ある地域づくりが今後の課題です。ハイウェイが開通してバイウェイが寂れてしまったらもともこもありません。そのためには、“風景街道”の知名度向上や「地域にある資源（宝）」をもっと磨き上げること、「おもてなしの心」を官民連携して育てていくこと等が大切と思います。

読者の皆様も一度、当ルートを訪れ、おいしい海の幸や美しい風景、暖かい人情をご堪能ください。

＜執筆者＞

日豊海岸シーニック･バイウェイ研究会　行政事務局

沖縄の花と美が体感できる新しい観光街道

ルート名：やんばる風景花街道

１．ルート概要

沖縄本島北部地域は、通称「やんばる」と呼ばれ、豊かな自然が広がり、貴重な動植物の宝庫となっております。その「やんばる」の森を囲むように登録されたのが「やんばる風景花街道」（平成 23 年 9 月）で、このルートは「やんばる」の森を背景に自然資源・海岸景観に恵まれた地域となっており、沿道には地域固有の歴史的・文化的資源が点在しています。

こうした地域の魅力に、年中色鮮やかに咲き誇る亜熱帯の花々を取り入れ、「沖縄の花と美」が体感できる新しい観光街道の創出を目指して活動しています。

２．これまでの活動

当ルートには、前述した自然資源、歴史･文化資源等が数多くあり、これまでも各団体による地域資源を活かした個別の活動や地域における美化活動（花植え･清掃）等、様々な取り組みが行われてきております。

エコツーリズム

ガイドツアー

美化活動（花植え）

これらの個別の活動をさらに継続･発展させるため、平成 24 年度にパートナーシップメンバーで連携して取り組みを行った活動についてご紹介します。

３．平成 24 年度の活動

（１）地域イベント

パートナーシップメンバーで連携した初めての取り組みとして「フラワーフェスティバル 2013」[平成 25 年 3 月 1 日～20 日]を開催しました。

どういった催し物ができるのか、意見交換会等を通じた議論を重ね、地元の方々や学生ボランティア等の協力も頂き、「街道沿いの花植え」、「個人の庭を解放したオープンガーデン」、「ものづくり体験教室」等、多彩な催しを行い、盛り上がりを見せたイベントとなりました。

フラワーフェスティバル

意見交換会の様子

街道沿いの花々の様子

オープンガーデンの様子

（２）沖縄地方風景街道南北交流会

沖縄県内で風景街道の活動に携わっている方々の連携･交流強化を図ることを目的に「やんばる風景花街道」のルートを舞台にした交流会（現地巡り･意見交換会）を開催［平成 25 年 3 月 8 日］しました。

「自然資源」、「歴史的･文化的資源」、「沖縄の花と美」が体感でき、参加者からも「やんばるを再発見する機会となった」、「地域に持ち帰って報告を行い、花いっぱい運動の推進に役立てたい」、「メンバー同士の交流が持て、今後の連携や共同学習について議論できたことが良かった」等の声も聞かれ、大変有意義な交流会となりました。

Cコース【長寿の里めぐり】

Aコース【やんばるの森めぐり】

意見交換会

Bコース【花の里めぐり】

４．おわりに

風景街道のルート登録をきっかけに、地域の盛り上がり、各団体等との連携の機運が高まりつつあることを実感しております。今後は、活動団体の交流･連携強化の拡大、来訪者への案内の充実を図るための標識整備等を行い、さらに「やんばる」の魅力を高める活動に励んでいきたいと考えております。

＜執筆者＞

「やんばるの花と美の風景街道」パートナーシップ

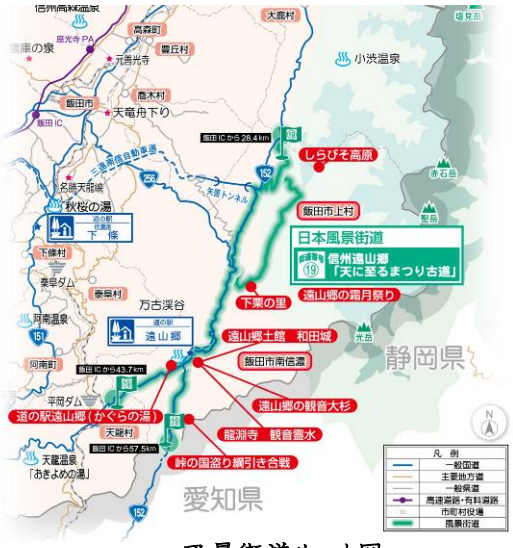
宜寿次 聰（二見以北地域振興会　会長）

シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

伝統・歴史文化の継承と保全、景観を活用した「おもてなしの心」による交流促進

ルート名：信州遠山郷「天に至る　まつり古道」（長野県飯田市）

１．信州遠山郷「天に至る　まつり古道」の概要



風景街道ルート図

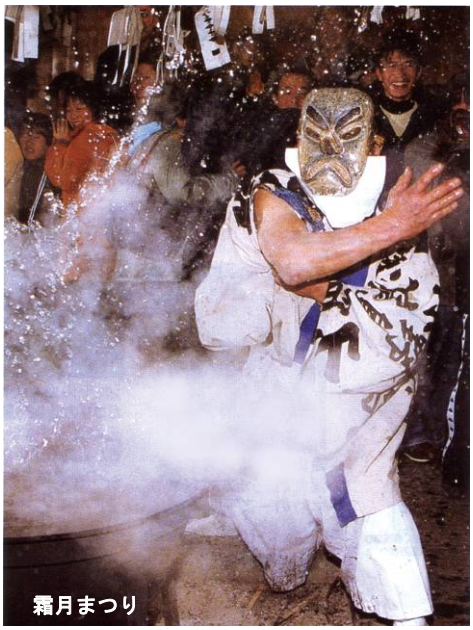
天に至るまつり古道は、長野県の南部、飯田市上村･南信濃地区において旧秋葉街道を中心とした国道152号、256号、418号などの沿線で活動しています。

南アルプス南部の山間に位置する当地は、遠山郷の名で知られ、秋葉街道の宿場町としても栄えました。

現在では日本の原風景が残された、日本の秘境100選の一つに数えられる貴重な地域です。特に上村にある下栗の里は標高1，000m、傾斜約30度の南東斜面に耕地や家屋が点在し、日本の原風景が残る山の里として、「日本のチロル」と名付けられました。現在、里を俯瞰できる「天空の里ビュースポット」が地元住民の方々によって整備され、年間5万人もの観光客が当地を訪れています。急傾斜の狭い土地を耕作した里山風景は、まさに「耕して天に至る」光景です。

毎年12月に行われる霜月まつりは約800年もの伝統を持ち、湯を煮えたぎらせた釜の周りを神様や農民の面と呼ばれる仮面を付けた被り手達が、舞い踊りつつ釜湯かけを行う祭りで、国の重要無形文化財にも指定されています。また、「神様にお湯を差し上げる」この祭りは、宮崎駿監督原作の映画「千と千尋の神隠し」制作の原点ともなっています。

他にも南アルプスとしらびそ高原、御池山隕石クレーター、かぐらの湯、峠の国盗り綱引き合戦など当地には貴重かつ魅力ある資源が豊富に存在しています。


霜月まつり

下栗の里

峠の国盗り綱引き

かぐらの湯

しらびそ高原

2．天に至るまつり古道の活動

天に至るまつり古道は、平成22年8月に日本風景街道に登録され、沿道に展開する景観、自然、歴史・文化、食など地域資源を活用した「おもてなしの心」による人々の交流で地域の活性化を図っています。

主な活動の状況として

・郷土の発展と伝統文化の継承、文化財の保護と保存

・観光を主体とした「まちづくり」にむけ、かつての賑わいを取り戻す活動

・特産品などを紹介・宣伝し観光客の誘致を図り、観光事業を通じて地域の振興・発展の推進

・他地域住民との交流などを通じて地域の活性化と産業の振興の推進

を中心として行うこととしています。

最近の活動としては、下栗の里にある天空の里ビューポイントまでの道整備と地元住民の皆さんによる下栗の里のガイドがあります。

下栗の里は近年、にほんの里100選に選ばれるとともに、テレビCMの撮影、スタジオジブリがアニメ制作に当たって取材に訪れる等、全国的な知名度も向上し、観光客が増加しています。

そこで、訪れる観光客をおもてなしするため、ビューポイントまでの道整備を行いました。

また、地元住民の皆さんによる下栗の里の案内をする活動も行われています。絶景ビューポイントで下栗の里を眺めながら、ここでの暮らし、自然、歴史文化や食など地元案内人と一緒に楽しむこの活動は、地元に住む人ならではの興味深いエピソード満載の話を聞きながら楽しめる観光として、利用される方々から好評をいただいています。

写真コンテスト表彰式

下栗の里

神様王国

3．『地域発　元気づくり支援金』を活用したガイドマップ作成

もともと遠山郷観光協会では、豊かな自然・生活文化・観光資源をポスターやパンフレット、HPを活用した情報発信による、誘客宣伝に取り組んできました。その効果として、多くの日帰り観光客が訪れるようになってきています。

当地の観光資源は、「にほんの里100選」の下栗の里、霜月まつりの他にも、恒例イベントとして定着化しているマラニック[1]を楽しむ遠山郷大イベント「チャレンジマラニックin遠山郷」や旧遠山森林鉄道ウォーキングの実施など、昨今の健康志向ブームを活かした観光・集客イベントも行っています。

観光資源豊富な遠山郷では、自然・健康志向のニーズを踏まえ、当地をゆっくり堪能してもらう滞在型観光を目標に、ウォーキングやサイクリングを基軸とした活性化方策が有効と考え、当該方策を周知する利用価値の高い情報発信ツールの提供が重要であると判断しました。

---

1 「マラソン」と「ピクニック」を合わせた造語。タイムを競うのではなく、参加する人それぞれのペースでコースを踏破することが目的です。

そのような背景の中、長野県の『地域発　元気づくり支援金[2]』を活用した「遠山郷をのんびり歩いたり自転車で巡るガイドマップ」作成を行う運びとなりました。

ガイドマップ作成に際しては、利用者ニーズを反映させたコンテンツ掲載が、「見てもらえる･使ってもらえる」利用価値の高い情報ツールに値すると考え、今までのチャレンジマラニックを通じて交流が出来たランナーの方々より、どのようなマップを作成していけばよいのか、多様な意見の聴き取り調査を行いました。さらには 9 月に行われる「チャレンジマラニックin遠山郷」のコース選定作業と並行して、サイクリングやウォーキングコースの研究も行い、遠山郷の約20コースを掲載した、コースマップを作成しました。

マラニック

さらに、ガイドマップのデザイン面にも配慮し、視覚的な魅力を付加させることも重要であると考えました。そのような「こだわり」もあり、今回は少々手続き的に時間を要しましたが、衛星写真の活用により、視覚的に見やすい鳥瞰図とすることで、マップのグレードアップを図りました。

林鉄ウォーキング

ガイドマップ作成の取り組みの過程で、地域の関連団体や、チャレンジマラニックのランナーの方々との交流が促進され、地域協働が実践できたことが、大きな成果に値すると実感しています。

ガイドマップ表（上段）

ガイドマップ表（下段）

4．おわりに

「天に至るまつり古道」は、伝統･歴史文化の継承と保全、景観を活用した「おもてなしの心」による交流促進を活動のポイントに位置づけてきました。

今回のガイドマップ作成では、ポイントである「おもてなしの心」による交流により達成でき協働型の成果品であると認識しています。

「日帰り型観光」から「滞在型観光」へのパラダイムシフトへの必要性が当地の共通認識とし醸成できたことも、今後の持続的な地域活性化への取り組みに波及すると感じています。

一方で、様々な活動の効果として遠山郷への来訪者の増加が堅調であるものの、地元住民の皆さんによるガイド、受け入れ体制の拡充をどうしていくか等、解決すべき課題も散見されます。

しかし、日本の原風景が残る当地で、「遠山に出会い、里人に出会い、神様と出会う不思議の旅」をゆっくりと味わい、満喫いただけるよう、今後も「おもてなしの心」を鼓舞し、活動を続けていきたいと思っています。

---

[2]豊かさが実感でき、活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業を支援する制度です。

日本風景街道　テーマ別意見交換会　開催概要
～自然の中を歩くための環境整備～

国土交通省 道路局 環境安全課 道路環境調査室

１．開催概要

日本風景街道では、清掃美化、景観創出、古道の復元、賑わいづくりなど地域資源を活用した多種多様な取り組みが展開されています。各地方ブロックでは、これまでも連絡会や交流会を定期的に開催し、意見交換を実施していますが、各地方ブロック内のパートナーシップが共通の活動を行っているとは限りません。

そのため、共通の活動を行っているパートナーシップの課題の解決に向けたノウハウの共有やパートナーシップどうしの交流・連携の場として、「日本風景街道　テーマ別意見交換会」を開催しました。

今回は、「自然の中を歩くための環境整備」というテーマで、共通の活動を行っている8つのルートのパートナーシップにご参加頂き、活動内容や課題の発表、意見交換を行いました。

- ✧ 日時：平成25年2月6日（水） 15:00～18:30
- ✧ 場所：中央合同庁舎2号館　地下2階会議室
- ✧ 議事：各ルートの活動内容や課題等の発表及び意見交換
- ✧ 参加頂いたルート・パートナーシップ：

千曲川・花の里山風景街道（信越トレイル）
浅間ロングトレイル（浅間ロングトレイル）
ぐるり・富士山風景街道（ぐるり・富士山トレイル）
北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート（塩の道トレイル）
日本風景街道「伊勢熊野みち」（熊野古道）
日本風景街道　熊野（熊野古道）
南いよ風景かいどう（トレッキング・ザ・空海）
ながさきサンセットロード（SASEBO 時旅）

※（）内は、各ルートから発表頂いた「自然の中を歩く」活動の名称等

- ✧ アドバイザー：石田　東生　筑波大学教授（日本風景街道戦略会議委員）
- ✧ 事務局：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室

会場の様子

発表に聞き入る参加者

２．各ルートの活動内容や課題等の発表

自然の中を歩くための環境整備をテーマに、トレイルや散策路に関する活動を行っているパートナーシップから、整備の考え方やガイドの方法、課題やその解決策等について発表頂きました。

〇トレイルや散策路へのアクセス

- 駐車場の不足等の課題に対応するため、登山口に駐車した場合、歩いた後で車に戻る交通手段がないことから、マイカーを回送するサービスを実施
- 県・市町村の協力の下、都市部から峠の上り口・下り口への送迎を行うシャトルバスを運行し、自家用車を使わずにコースへのアクセスを実現
- 公共交通機関が少ない地域では、ペンションやおみやげ店の送迎用の車を活用して、来訪者に快適に歩いて頂く方法を検討中

〇案内方法

- 道標が地域によって異なっており、全域で統一するのは難しいため、案内の状況を事前に発信することを検討
- 外国人観光客のために、英語表記の看板を地域のボランティアで設置
- 主要道路からトレイル・散策路まで的確に案内するための看板の統一化が必要
- 景観に配慮した木製の案内看板を設置しているが、維持管理の方法が課題

〇トレイルや散策路の整備

- 林道や登山道には様々な規制があり、簡単に整備を行うことができない
- コース上の道路に歩道のない部分が多く、安全で歩きやすいコース整備には、道路管理者や関係機関との協力が必要
- トイレが十分に完備されていないコースもあれば、行政の補助で休憩所つきトイレを順次整備しているところもある。神社・仏閣等の協力でトイレを利用しているところもあるが、トイレの整備費用が課題

〇その他

- 語り部の担い手が高齢化しており、今後の担い手の確保が課題
- 地域の施設を見学する際には、利用者がマナーを学ぶことが必要

千曲川・花の里山風景街道

浅間ロングトレイル

ぐるり・富士山風景街道

北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート

日本風景街道「伊勢熊のみち」

日本風景街道　熊野

南いよ風景かいどう

ながさきサンセットロード

各ルートの発表の様子

3．意見交換

各ルートからの発表を踏まえ、意見交換を行いました。主な意見は次のとおりです。

〇案内の方法について

・　時代で変わってしまう道を案内しようとしても、長い道の歴史を考えれば、地図や看板・標識を作っても修正が必要になるため、観光案内や道案内機能を搭載したスマートフォンのアプリを開発している。風景街道として統一したアプリの開発を検討して頂きたい。

〇オーバーユースについて

・　地域の遺産を守っていくために、オーバーユース問題の提起を行っている。ルートの途中にある希少な動植物や歴史的遺産が侵されたため、ルートを少し変更した箇所がある。

○トレイルや散策路の整備の考え方について

- 歩く人（来訪者）のマナー・ルールが非常に重要である。
- 今までは、地域が利用者のために何を用意すればよいかという議論ばかりがなされてきたが、来訪者の役割や責任についても議論する必要がある。
- 地域の目線と来訪者の目線とをシステマチックにまとめたガイドラインを定めて整備を行っている。地域の中には、様々な考えがあるため、ガイドラインを基に意見を聞きながら時間をかけてトレイルを造ってきた。トレイルは、システムができていないと、来訪者に対して自信を持って提供できないと思う。

○運営方法について

- ボランティアで頑張るだけではなく、積極的にビジネス展開していく感覚が必要ではないか。
- 風景街道で行っている事業は、いわゆる「着地型観光」である。これを成功させないと、風景街道は永久にボランティアで活動することになる。旅行代理店との役割分担等、安定した運営システムを構築する必要がある。
- スキルを持ってガイドができれば、来訪者から一定のガイド料金を頂くことは可能ではないか。
- 風景街道の場合、地元の意欲や情熱、ボランティア的な部分があると思う。しかし、ビジネスとなると、意欲や情熱に拠ったツアー等はまとまらないと思う。そのあたりはバランスをとらないとうまくいかないのではないか。

○歩くための道の位置付けについて

- 歩く道から高速道路までの道の体系の中で、「楽しみながら歩く道」が位置づけられていないのではないか。しっかりと位置づけないと道を守ることができない。都市の歩道ではなく、歩くためのニーズに対応した道の必要性を位置づけてもらう必要がある。

○石田教授（アドバイザー）からのコメント

「歩く」ということは、細部まで見えるため、評価がシビアになる。歩く空間の確保、安全・安心、快適を維持していくための課題をどのように考えるのか、議論して共有することが重要だと思う。

歩行空間づくりについては、道路管理者等は活動団体の皆様からの要望を受け止めて、実現する方向で頑張って頂きたい。

また、ICTのようなハイテクとともに、手作り感を感じさせるローテクも大切だと思う。

4．おわりに

今後とも、風景街道の活動についてテーマを設定し、共通の活動に取り組まれているパートナーシップの方々との意見交換を実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、今回の意見交換会のとりまとめ資料を、以下のURLにアップしましたので、活動の参考となれば幸いです。

URL：http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/pdf/fuukeikaidou_ikenkoukan_shizen_walk.pdf

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 （北海道開発局　建設部　道路計画課　内）	畑山　　朗	011-709-2311（代表）（内線 5845）
東北風景街道協議会 （東北地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	増澤　　亨	022-225-2171（代表）（内線 4256）
風景街道関東地方協議会 （関東地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	石浜　康賢	048-601-3151（代表）（内線 4252）
北陸　風景街道協議会 （北陸地方整備局　道路部　道路計画課　内）	稲本　義昌	025-280-8880（代表）（内線 4213）
風景街道中部地方協議会 （中部地方整備局　道路部　計画調整課　内）	稲垣　光正	052-953-8171（代表）（内線 4312）
近畿風景街道協議会 （近畿地方整備局　道路部　地域道路課　内）	南條　耕平	06-6942-1141（代表）（内線 4612）
中国地方風景街道協議会 （中国地方整備局　道路部　地域道路課　内）	糸原　　保	082-221-9231（代表）（内線 4613）
四国風景街道協議会 （四国地方整備局　道路部　地域道路課　内）	野上　直樹	087-851-8061（代表）（内線 4631）
九州風景街道推進会議 （九州地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	石橋　賢一	092-471-6331（代表）（内線 4252）
沖縄地方風景街道協議会 （沖縄総合事務局　開発建設部　道路建設課　内）	末光　勇次	098-866-1914（代表）（内線 4353）

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年 4 回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見･ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関２－１－３
TEL: 03-5253-8497　FAX: 03-5253-1622